

# フィンテックを共同研究

## 三井住友F&G、近大などと

三井住友フィナンシャルグループは金融とIT（情報技術）を融合する「フィンテック」分野で産学連携の共同研究を進める。近畿大学やシステム開発のハウインターナショナル（福岡県飯塚市）と協力する。決済などのサービスの費用を下げる狙いがある。

ビットコインなどの仮想通貨の決済で利用される「ブロックチェーン」と呼ぶ技術を研究対象とする。

する。取引記録を低コストで管理できるのが特徴で、決済サービスのほか、金融派生商品）への応用が期待されている。

ハウ社とはブロックチェーン技術を研究するため、法制度面を中心に研究を継続する。フィンテックの実用化に向けた競争が激しくなるなか、いち早く成果を上げるために強みを持つ提携相手と

する。取引記録を低コストで管理できるのが特徴で、決済サービスのほか、金融派生商品）への応用が期待されている。

ハウ社とはブロックチェーン技術を研究するため、法制度面を中心に研究を継続する。フィンテックの実用化に向けた競争が激しくなるなか、いち早く成果を上げるために強みを持つ提携相手と

する。取引記録を低コストで管理できるのが特徴で、決済サービスのほか、金融派生商品）への応用が期待されている。

ハウ社とはブロックチェーン技術を研究するため、法制度面を中心に研究を継続する。フィンテックの実用化に向けた競争が激しくなるなか、いち早く成果を上げるために強みを持つ提携相手と

する。取引記録を低コストで管理できるのが特徴で、決済サービスのほか、金融派生商品）への応用が期待されている。

ハウ社とはブロックチェーン技術を研究するため、法制度面を中心に研究を継続する。フィンテックの実用化に向けた競争が激しくなるなか、いち早く成果を上げるために強みを持つ提携相手と

する。取引記録を低コストで管理できるのが特徴で、決済サービスのほか、金融派生商品）への応用が期待されている。

ハウ社とはブロックチェーン技術を研究するため、法制度面を中心に研究を継続する。フィンテックの実用化に向けた競争が激しくなるなか、いち早く成果を上げるために強みを持つ提携相手と

する。取引記録を低コストで管理できるのが特徴で、決済サービスのほか、金融派生商品）への応用が期待されている。

ハウ社とはブロックチェーン技術を研究するため、法制度面を中心に研究を継続する。フィンテックの実用化に向けた競争が激しくなるなか、いち早く成果を上げるために強みを持つ提携相手と

する。取引記録を低コストで管理できるのが特徴で、決済サービスのほか、金融派生商品）への応用が期待されている。

ハウ社とはブロックチェーン技術を研究するため、法制度面を中心に研究を継続する。フィンテックの実用化に向けた競争が激しくなるなか、いち早く成果を上げるために強みを持つ提携相手と

する。取引記録を低コストで管理できるのが特徴で、決済サービスのほか、金融派生商品）への応用が期待されている。

ハウ社とはブロックチェーン技術を研究するため、法制度面を中心に研究を継続する。フィンテックの実用化に向けた競争が激しくなるなか、いち早く成果を上げるために強みを持つ提携相手と

する。取引記録を低コストで管理できるのが特徴で、決済サービスのほか、金融派生商品）への応用が期待されている。

ハウ社とはブロックチェーン技術を研究するため、法制度面を中心に研究を継続する。フィンテックの実用化に向けた競争が激しくなるなか、いち早く成果を上げるために強みを持つ提携相手と

する。取引記録を低コストで管理できるのが特徴で、決済サービスのほか、金融派生商品）への応用が期待されている。

ハウ社とはブロックチェーン技術を研究するため、法制度面を中心に研究を継続する。フィンテックの実用化に向けた競争が激しくなるなか、いち早く成果を上げるために強みを持つ提携相手と